

た か だ し ょ う せ い か つ
高田小の生活

れ い わ ね ん ど ば ん
令和7年度版



いな しき し りつ たか だ しょう がっ こう
稲敷市立高田小学校

ねん ぐみ ばん し めい 年 組 番 氏 名 ()

しょうがっこう せいかつ 小学校の生活について

たかだしょう こうくんに めざす じどうぞう 高田小の校訓・目指す児童像

(1) こうくんに 校訓

つよ …がまん づよ こ がんばる子
あか とも なか おも こ
明るく…友だちと仲よく、えがおの子 思いやりのある子
かんが ふか かんが こ
考える…どうして？なぜ？と深く考える子
こうだから、こうなのだと かんが こ
考えられる子

I がっこう せいかつ なが 学校生活の流れ

7:40 ～ 8:10 かいもん どうこう 開門・登校

- ・7:40以降に登校しましょう。
- ・地域のひとや友達・先生に大きな声であいさつをしましょう。
- ・かかとをそろえて靴を入れましょう。
- ・提出物を確実に提出しましょう。
- ・貴重品を持っている場合は、必ず担任の先生に預けましょう。
- ・荷物を片付けたら、自分の席に着席して、読書をしていきましょう。

8:10 しゅつせきかくにん 出席確認

- ・8:10のチャイムでいない場合は遅刻です。

8:10 ～ 8:20 けんこうかんさつ あさ かい 健康観察、朝の会

- ・担任の先生ときちんと顔を合わせて、元気よく気持ちのよい返事をしましょう。
- ・今日の予定をしっかりと確認しましょう。

8:20 ～ 8:35 あさ どくしよ ほじゆうがくしゅう 朝の読書・補充学習

- ・学力の定着をはかりましょう。
- ・無言で読書や課題を始めましょう。
- ・15分の積み重ねを大切にしましょう。大きな効果をもたらします。

8:35 ～ 9:20 いどうきょう ばあい すみ ろうか ある しず いどう 1校時 移動教室の場合には、速やかに廊下を歩いて静かに移動をしましょう。 また、消灯を忘れずおこないましょう。

9:25 ～ 10:10 こうじ 2校時

10:10 ～ 10:25 ぎょうかんやす つぎ がくしゅう ようい やす じかん 業間休み 次の学習の用意をしてから休み時間にしましょう。 ・10:10より前に教室を出ないようにしましょう。

10:30 ～ 11:15 こうじ 3校時

11:20	～	12:05	4校時	
12:05	～	12:20	給食準備	
			・当番は速やかに手を洗って、17°ロン、帽子、マスクを着用し、配膳を始めましょう。 ・当番以外の人は、手を洗い着席します。	
12:20	～	12:40	食事	
			・グループで会食をします。 ・しっかりと食べるため、始めの5分をもぐもぐタイムとします。また、終わりの5分は、食べ終わっていないものを食べたり、片付けたりします。 ・12:20以降は教室から外に出ないようにしましょう。 (トイレ・手洗いを済ませ、席に座って静かに待ちます) ・協力して配膳をおこないましょう。 ・必ずテーブルクロスを敷きましょう。 ・クラスそろって「いただきます」をしましょう。 ・マナーを守って、楽しくできるだけ残さないように食べましょう。 ・ご飯以外のおかわりは、残さず食べたものからにしましょう。 ・クラスそろって「ごちそうさま」をしてから、後片付けをしましょう。	
12:40	～	12:55	片付け 歯磨き	
			・当番が片付けを終了したら、クラスそろって「ご苦労様でした。」をしましょう。 ・歯磨きの曲に合わせて歯磨きをしましょう。 ・12:55までは教室から出ないようにしましょう。	
13:00	～	13:15	清掃	
			・音楽が鳴ったらしずかに、清掃を始めましょう。 ・音楽が鳴っている間は分担場所にいるようにしましょう。 ・一生懸命掃除をし、すみずみまできれいにしましょう。 ・音楽が終わったら教室に戻って反省をしましょう。	
13:15	～	13:30	昼休み	
			・13:15より前に教室を出ないようにしましょう。 ・外で元気に体を動かしましょう。 ・予鈴が鳴ったらすぐに教室に戻りましょう。 ・チャイムが鳴る2分前には、学習の用意をして席に座っていきましょう。	
13:35	～	14:20	5校時	【5時間授業の場合】
14:35	～	15:10	6校時	14:20 ～ 14:30 帰りの会 → 帰りの用意
				14:35 ～ 下校
15:10	～	15:20	帰りの会 → 帰りの用意	
			・話をよく聞き、1日の振り返りを行いましょう。 ・明日の学習や、持ち物の確認をしましょう。	
15:25	～		下校	・交通ルールを守り、寄り道をせずまっすぐ家に帰りましょう。 ・下校時間を守りましょう。

II 学校生活の約束事

(1) 規律ある学校生活について

- ① 8:10分までに登校しましょう。
- ② 欠席、早退、遅刻や体育などを見学をする場合は、お家の人に必ず連絡をいれてもらいましょう。
また、事前にわかっている場合には連絡帳等で担任の先生に連絡するようにしましょう。
- ③ 遅刻をして登校した際には、担任の先生に、登校したことを告げましょう。
- ④ 早退するときは、必ず担任の先生に報告し、迎えに来てもらい帰宅しましょう。
- ⑤ 友達を呼ぶ時には「〇〇さん」と呼びましょう。
- ⑥ 学校にいる時は、名札をつけましょう。(朝につけて、帰りは教室において帰る)
※安全面を考慮し、薄着の場合は付けなくてもよい。
- ⑦ 場に応じた服装と髪型をしましょう。

(2) 学習について

- ① 立腰の姿勢を心がけて、学習しましょう。

ア 立腰とは

「腰を立てて背筋をシャキッとすれば、心もシャキッとする。」
＝ 「からだを通して心を強くしていくことができる。」

イ 立腰の効果

- ・やる気がおこる
- ・集中力がつく
- ・持続力がつく
- ・行動が俊敏になる
- ・内臓の働きがよくなり、健康的になる
- ・精神や身体のバランス感覚が鋭くなる
- ・身のこなしや振る舞いが美しくなる

② 授業準備

ア 各自

- ・次の授業の準備は、休み時間にしましょう。(教科書・ノート・筆記用具・資料・プリントなど)
- ・トイレ・水分補給はすませておきましょう。
- ・時間を意識し、余裕をもって行動しましょう。(1分前着席・1分前移動完了を目指す)
- ・後片付けは、次の時間に遅れないようにみんなで協力しましょう。

イ 移動

- ・整列し、静かに移動をしましょう。

ウ 学習用具

- ・筆箱は、出さずに筆記用具のみ机上に用意しましょう。(鉛筆、けしゴム、赤青鉛筆、定規)
- ・手に隠れるほどの短い鉛筆は使わないようにしましょう。

※ 持ち物についての基本的な考え

- 学校生活に必要なものを持って来ない。
- 使いやすいものを使用する。
- 気が散りやすいものを使用しない。

こ う も く 項 目	ない よ う 内 容	ちゅう い じ こ う 注 意 事 項																		
えんぴつ 鉛筆	・ 2 BかBのえんぴつ鉛筆。 ・ 高学年はHBでもよい。	・ 鉛筆は毎日、家で削ってきましょう。 ・ シャープペンシル、飾りがついた鉛筆は、学校に持って来ない。 ・ 飾りがついた鉛筆キャップは使用しない。 ・ グリップは可とする。 ・ 鉛筆削りは持ってこない。																		
あかあおえんぴつ 赤青鉛筆	・ 赤青鉛筆、もしくは赤と青それぞれの色鉛筆。	・ 修正ペン、修正テープは持って来ない。 ・ 蛍光ペン、カラーペンなどは持って来ない。																		
クーピー	・ クーピーが望ましい。	・ ひんぱんに削らなくても使用できるので、色鉛筆よりもクーピーが望ましい。																		
け 消しゴム	・ 直方体のもの。よく消えるものが望ましい。	・ におい付きやかざり付きのものは持って来ない。																		
じょうぎ 定規など ぶんぐ の文具	・ 定規は15cm程度で、透明でプラスチックのものが望ましい	・ 折りたたみ式のものは持って来ない。 ・ 分度器、三角定規は目盛りがはっきり分かるもの																		
したじ 下敷き	・ 無地のものが望ましい。																			
ノート	・ 学 習にふさわしいもの。	・ 授 業で使うノートはイラストなどが派手でないもの。																		
<ノートの形式> <table border="0"> <tr> <td>1年 … 国語 (8マス)</td> <td>算数 (6マス)</td> <td>漢字 (50字)</td> </tr> <tr> <td>2年 … 国語 (12マス)</td> <td>算数 (14マス)</td> <td>漢字 (84字)</td> </tr> <tr> <td>3年 … 国語 (15マス)</td> <td>算数 (5mm方眼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科、社会 (5mm方眼)</td> <td>漢字 (91字詰)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4年 … 国語 (12行)</td> <td>算数、社会、理科 (5mm方眼)</td> <td>漢字 (120字詰)</td> </tr> <tr> <td>5、6年 … 国語 (15行)</td> <td>算数、社会、理科 (5mm方眼)</td> <td>漢字 (150字詰)</td> </tr> </table>			1年 … 国語 (8マス)	算数 (6マス)	漢字 (50字)	2年 … 国語 (12マス)	算数 (14マス)	漢字 (84字)	3年 … 国語 (15マス)	算数 (5mm方眼)		理科、社会 (5mm方眼)	漢字 (91字詰)		4年 … 国語 (12行)	算数、社会、理科 (5mm方眼)	漢字 (120字詰)	5、6年 … 国語 (15行)	算数、社会、理科 (5mm方眼)	漢字 (150字詰)
1年 … 国語 (8マス)	算数 (6マス)	漢字 (50字)																		
2年 … 国語 (12マス)	算数 (14マス)	漢字 (84字)																		
3年 … 国語 (15マス)	算数 (5mm方眼)																			
理科、社会 (5mm方眼)	漢字 (91字詰)																			
4年 … 国語 (12行)	算数、社会、理科 (5mm方眼)	漢字 (120字詰)																		
5、6年 … 国語 (15行)	算数、社会、理科 (5mm方眼)	漢字 (150字詰)																		
※ ランドセルや手さげ、筆箱などにキーホルダーやキャラクターグッズをつけない。 (お守りを付けたい場合は、ランドセル内側のポケットにしまっておく。)																				

③ 号令のかけ方

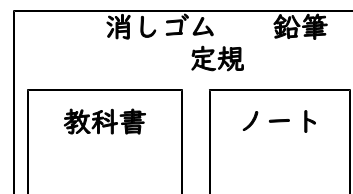
ア 授 業開始の号令

・ チャイムの合図で起立 ⇒ 立腰の号令 ⇒
「はい」 ⇒ 「これから○時間目の学 習を
始めます。」礼〈1・2・3拍〉(先生の顔が
上がって児童と視線が合ったら) ⇒ 着 席
(号令をかける) ⇒ 座る

イ 終 了の号令

・ 起立 ⇒ 立腰の号令 ⇒ 「はい」 ⇒ 「これで○時間目の学 習を終わりにします。」礼
〈1・2・3拍〉(先生の顔が上がって児童と視線が合ったら) ⇒ 着 席 (号令をかける)
⇒ 座る

<机の上>



④ 授業中

- ア 学習課題〔青枠〕の確認をしましょう。
- イ 発表の仕方
- 黙って手を挙げましょう。（しっかり指先まで伸ばす。）
 - 名前を呼ばれたら「はい」と返事をして立ちましょう。
 - 机の横（右側）に立って発言しましょう。
 - 発言するときは、みんなに伝わるように発言しましょう。
（大きな声・はっきりと「～です」・「～ます」の言葉の語尾までしっかりと話す。）
 - 発表する時は、結論を最初に述べて根拠を明らかにして発言しましょう。
「□□だと思っています。そのわけ（理由）は、～だからです。」
「〇〇さんの意見を聞いて～」
「教科書の〇ページに～と書いてあるからです。」
 - 発言者は、みんなの方を見てしっかりと自分の考えを伝えましょう。
- ウ 学習の仕方
- 授業中は、自分の席から勝手に離れないようにしましょう。
 - 学習の形態がグループ・ペア学習の時は、先生の指示に従いましょう。
 - 指名されていない人は、勝手に声を出して話さないようにしましょう。
- エ 話・発表の聞き方
- 頬杖、よそ見、私語はしないようにしましょう。
 - 人の話・説明を聞くときは、話し手の方へ顔を向けきちんと聴くようにしましょう。
（うなずき・あいづち・話の最後まで）
 - 自分の考えと比較しながら聞くようにしましょう。
- オ 話し合い（全体・ペア・グループ）
- 発言者の意見をよく聴き、自分の考えを発表しましょう。
 - ハンドサインについて理解し活用しましょう。

【やくそく１】：ハンドサインでしめしましょう。

〈グー〉……	「おなじです。」
〈チョキ〉…	「にています」「つけたします。」
〈パー〉……	「ちがいます。」

【やくそく２】：くらべたともだちのなまえもいしましょう。

〈グー〉……	《おなじいけん》「わたしも、〇〇さんのいけんとおなじで…だとおもいます。」
〈チョキ〉…	《つけたし》「わたしは、〇〇さんのいけんにつけたして…だとおもいます。」
〈パー〉……	《ちがういけん》「わたしは、〇〇さんとちがって……だとおもいます。」

- 友達の発言に対して、意見は言っても批判はしないようにしましょう。
- グループでの話し合いは、積極的に発言しましょう。
- 周りのグループに聞こえないような声の大きさを話しましょう。
- 教える時は、友達が納得できるように丁寧に教えましょう。
- グループ・ペアでは、全員が発言をしましょう。

カ 学^{がくしゅう}習^{しゅう}のまとめ（内容^{ないよう}を赤^{あか}枠^{わく}で囲^{かこ}む）

キ 学^{がくしゅう}習^{しゅう}のあしあと（ノート指導^{しどう}）

- ・下^{した}じきを敷^しいて、ていねいな文字^{もじ}でノートをとりましょう。
- ・文字^{もじ}は丁寧^{ていねい}に正^{ただ}しく書^かき、落^{らく}書き^{がき}はしないようにしましょう。（速^{はや}さ競^{きよう}争^{そう}にならないように）
- ・ノートは絶対^{ぜつたい}に破^{やぶ}らないようにしましょう。
- ・マス目^めがあるノートは、マスからはみ出^ださないように丁寧^{ていねい}に書^かきましょう。
- ・板書^{ばんしょ}の内容^{ないよう}やメモをノートへ記入^{きんにゅう}しましょう。
- ・ノートは、黒板^{こくばん}を写^{うつ}すだけでなく自^じ分の考^{かんが}えを書^かくためのものとして使^{つか}いましょう。
- ・色^{いろ}・図^ず・記号^{きごう}など工夫^{くふう}して自^じ分^{ぶん}だけのノートをつくりましょう。

⑤ その他

ア 始^{しぎよう}業^{あいう}合^あ図^ず（チャイム）が鳴^なる前^{まえ}に、静^{しず}かに着^{ちゃく}席^{せき}していましう。終^{しゅうりよう}了^{りよう}の時間^{じかん}になるまでは教室^{きやうしつ}から出^でてはいけません。

イ 必要^{ひつよう}な学^{がくしゅう}習^{しゅう}用具^{ようぐ}を忘^{わす}れないようにしましう。

ウ 授^{じゅぎよう}業^{ぎよう}中^{ちゅう}は決^{けつ}められた座^ざ席^{せき}に着^{ちゃく}席^{せき}しましう。特別^{とくべつ}教^{きよう}室^{しつ}での授^{じゅぎよう}業^{ぎよう}は、担^{たん}当^{とう}の先^{せん}生^{せい}の指^し示^じに從^{したが}いましう。

エ テストの時^{とき}は、机^{つくえ}を一^{いち}列^{れつ}ごと^{ごと}に離^{はな}しましう。

(3) 給^{きゅうしよく}食^{しょく}について

① 配^{はい}膳^{ぜん}

ア 当^{とうばん}番^{ばん}の児^じ童^{どう}は配^{はい}膳^{ぜん}台^{だい}をきれいに拭^ふきましう。（消^{しょうどく}毒^{どく}は先^{せん}生^{せい}がしましう。）

イ 給^{きゅうしよく}食^{しょく}当^{とうばん}番^{ばん}は手^てを洗^{あら}い、手^{しゆ}指^しの消^{しょうどく}毒^{どく}を^{はく}い^いて白^{はく}衣^い・帽^{ぼう}子^し・マ^かス^かク^くを必^{かなら}ず着^{ちゃく}用^{よう}しましう。

ウ 給^{きゅうしよく}食^{しょく}当^{とうばん}番^{ばん}以^い外^{がい}の児^じ童^{どう}は、石^{せつ}け^てん^てで手^てを洗^{あら}い、着^{ちゃく}席^{せき}していましう。

エ 給^{きゅうしよく}食^{しょく}が配^{はい}ら^だれ^だて^てい^いる間^{かん}は静^{しず}かに待^{まち}ちましう。

② 会^{かい}食^{しょく}

ア 会^{かい}食^{しょく}は、必^{かなら}ず決^{けつ}められた座^ざ席^{せき}で^おこ^こな^なま^ましう。

イ 全^{ぜん}員^{いん}そ^そろ^ろて「い^はた^だき^ます」「ご^ごち^ちそ^そう^うさ^さま」をい^いま^ましう。

ウ テーブルク^{はし}ロスと箸^{わす}セ^セツとを忘^{わす}れ^れない^いに^いま^ましう。

エ 箸^{はし}を^わす^すた^た場^ば合^{あい}は職^{しよく}員^{いん}室^{しつ}で借^かり^りま^ましう。（割^わり^り箸^{ばし}の使^し用^{よう}は禁^{きん}止^しです。）

オ お^おか^かわ^わり^りは、全^{ぜん}部^ぶた^たべ^べた^たも^もの^のか^から^らす^する^るよ^よう^うに^にま^ましう。

カ 食^たべ^{ある}歩^あき^きを^をし^した^たり、食^たべ^あ物^{もの}で遊^{あそ}ん^んだ^だり^りし^しない^いに^にま^ましう。

キ 大^{おお}声^{ごえ}で話^{はな}を^をし^しない^いに^にま^ましう。（グル^ぐー^ープ^ぷ内^{ない}で聞^きこ^こえ^える程^{てい}度^どの大^{おお}き^きさ）

③ 後^{あと}片^か付^づけ

ア 残^{ざん}菜^{さい}、食^{しよく}器^き、ゴ^こミは、個^こ人^{じん}で片^か付^づけ^づま^ましう。

イ 牛^{ぎゅう}乳^{にゅう}は、飲^のみ^の残^{のこ}し^しを丸^{まる}缶^{かん}に^い入^ちれ^いて、小^ちさ^いくパ^ぱッ^っクを^をた^たた^たみ^みま^ましう。

ウ スト^すロー^ろやスト^すロー^ろの袋^{ふくろ}な^ちど散^すら^すか^かさ^さない^いに^にま^ましう。

エ 片^か付^づけ^づを^を終^おえ^えたら、給^{きゅうしよく}食^{しょく}当^{とうばん}番^{ばん}以^い外^{がい}の児^じ童^{どう}は着^{ちゃく}席^{せき}して待^{まち}ちま^ましう。

④ 衛生面の確認

- ア 4校時終了後は黒板は消さずに昼休みに消しましょう。
- イ 白衣・帽子は金曜日に家に持って帰り、洗って月曜日に持ってきてきましょう。
- ウ 魚はご飯といっしょに捨てます。
- エ ゴミの分別に注意をしましょう。

12:05	授業終了	
	給食当番	一般児童
	★石けんで手を洗い、手指消毒をして テーブルクロスの準備をする ★白衣、帽子、マスク ★配膳台をふく ★配膳	★手を洗い、手指消毒をする ★テーブルクロスの準備をする ★静かに着席して待つ
12:20	配膳完了 ☆ 白衣・帽子・マスクをしまう	
	「いただきます」会食	
12:40	「ごちそうさまでした」	
	給食当番	一般児童
	★自分の片付けをする ★当番で手分けして、各食器の前 で細かくチェックする ★決められたとおりに台車に戻す ★台ぶきんで配膳台をふく ★はみがきをする	★スープ・牛乳・食べ残しは丸缶 に戻す ★牛乳パックをたたむ ★呼ばれた人から片付ける ★はみがきをする
12:55	歯ブラシ、コップをしまい、掃除の準備をする。	

(4) 休み時間の過ごし方について

- ① 他学年の教室へは行かないようにしましょう。
- ② 業間休みと昼休みは、時間を守ってできるだけ外で遊びましょう。
- ③ ベランダに勝手に出てはいけません。(教室移動などには使いません。)
- ④ 特別教室や空き教室に無断で入らないようにしましょう。
- ⑤ 特別教室は、担任の先生の許可を得てから使用しましょう。
- ⑥ 特別教室へは休み時間中に移動して、授業開始に遅れないようにしましょう。
- ⑦ 校舎・プール・体育館裏などには行かないようにしましょう。たたきや校門の近くでは遊んではいけません。
- ⑧ 木に登ったり、ぼうを振りまわしたりしないようにしましょう。
- ⑨ 使った用具は、きちんと片付けましょう。(遊具のきまりで確認する。)
- ⑩ 外遊びや体育など校内での活動のときは、赤白帽子をかぶりましょう。
- ⑪ 廊下は右寄りを静かに歩きましょう。
- ⑫ 階段の手すりを滑り降りるのは、危険なのでやめましょう。

(5) 清掃について

① 目標

☆ 黙って働く ☆ 一生懸命働く ☆ 協力して働く

② 清掃の目的

- ア 清掃活動を通して、環境美化に対して、関心を深めさせ、身の周りの美化、整頓する意欲や態度を育てる。（環境の美化）
- イ 清掃活動の実践を通して、協力、責任、奉仕などの望ましい社会的な態度を養う。（心の美化）

④ 清掃時間の活動

- ア 清掃の準備・移動
- ・清掃の身支度を整えましょう。（赤白帽子）
- イ 清掃開始
- 12:57になったら音楽が鳴るので清掃を始める。清掃中はしゃべらない。
- 音楽が終わるまで、担当の場所を掃除し、鳴り終わったら、教室へ戻る。

⑤ 清掃の手順

- ア 教室・特別教室・廊下・階段
- ・窓を開ける。
 - ・ほこりをたてないように帚で隅々まで掃く。
 - ・特別教室前の長い廊下はぞうきんモップを使用する。
 - ・床を横拭き（ワイパー拭き）する。
 - ・机の上専用のタオルを拭く。
 - ・棚、敷居、戸の汚れを拭く。
 - ・きれいな水で雑巾を洗い、固く絞り、雑巾がけに干す。
 - ・用具の後片付けをする。（バケツの水はトイレの掃除用具入れ内の水道へ流す。）
- イ 流し
- ・スポンジでシンク周りを磨く。
 - ・鏡を鏡用タオルで磨く。（保健室前へ必要時に取りに来て使用後は保健室に戻す）
 - ・流し前の鏡や流し・蛇口・床の水を雑巾できれいにふく。
 - ・用具の後片付けをする。
- ウ トイレ
- ・床を掃く。
 - ・床を床用の雑巾で拭く。
 - ・便器はスプレーを使い、柄つきたわしで磨き、水を流す。
 - ・流しはクレンザーを使いスポンジで磨く。
 - ・流し用の雑巾で手洗い場をきれいに拭く。
 - ・戸や棚・ベンチなどを棚用の雑巾で拭く。
 - ・トイレトペーパーと石けんの有無を確認し、補充する。
 - ・用具の後片付けをする。

※ クレンザーやスプレーがなくなった場合は、保健室前のものと交換する。保健室前にない場合は、当日は使用しない。

エ 昇降口

- ・ 隅々まで掃く。
- ・ 雑巾がけをする。
- ・ 用具の後片付けをする。
- ・ 靴箱は雑巾で拭く。

⑥ その他

- ア ゴミの減量・分類に気をつけましょう。
- イ 清掃用具は丁寧に扱い、使用後は元の場所に返しましょう。
- ウ 清掃区域については、自分の担当に責任を持ち、境は相互に入り込む気持ちを持ちましょう。
- オ 身支度を整えて行いましょう。
- キ 音楽が終わるまで担当場所の清掃を行いましょう。

(6) 所持品について

- ① 所持品には、必ず、クラス・氏名を書いておきましょう。
- ② 授業に必要なものだけ持ってきてきましょう。
- (携帯電話、ゲーム、カードゲーム、雑誌等禁止)
- ア 携帯電話等を持ってきた場合、学校で一時的に預かり、保護者に返還します。
- イ その他必要なものがある場合は先生から連絡します。
- ③ お金または貴重品を持ってきた場合は、朝のうちに担任の先生に預けましょう。
- ④ 提出物は、朝のうちに担任の先生に預けましょう。
- ⑤ ランドセルや手さげ、筆箱などにキーホルダーやキャラクターグッズをつけないようにしましょう。

(7) 全校集会・式での約束事について

- ① 教室前廊下で並び無駄話をせず体育館に入場しましょう。
- ② 体育館では、きちんと2列または4列に整列したクラスから座って待ちましょう。
- ③ 全クラスが入場するまで静かに待機しましょう。
- ④ 集会時は、きちんとした態度で話を聞きましょう。
- ⑤ 退場するときは、先生の指示に従い並んで退場しましょう。

(8) 職員室や授業以外で入室するときの注意点について

- ① 職員室の出入りは、後ろから入りましょう。
- ② 入室するときはぼうしをぬぎ、ランドセルをおきましょう。
- ③ 入室するときは「失礼します。〇年〇組の～です。～を取りに来ました。」または「失礼します。〇年〇組の～です。～先生はいらっしゃいますか。」と言ってから入室しましょう。
- ④ 黙って先生の机から物品等を持っていかないようにしましょう。必ず近くの先生に断りましょう。
- ⑤ 退室するときは「失礼しました。」のあいさつを忘れないようにしましょう。
- ⑥ 必要以外の職員室の入退室は禁止します。

(9) 保健室の利用について

具合が悪くなつて保健室を利用する場合

- ① 授業中・休み時間 → 担任の先生に伝えてから行くようにしましょう。
- ② 利用は、1日1時間(45分)とします。
- ③ 1時間休養しても回復がみられない場合は家庭で休養をとりましょう。
- ④ 養護の先生が出張等で不在の時は、保健室は利用せず、職員室で対応します。
- ⑤ 保健室では、飲み薬はあげられません。家で使用している薬を持参しましょう。持参した薬を他人へあげることもしないでください。また替え用の湿布や絆創膏なども家から持参しましょう。
- ⑥ 休養している人もいますので静かに利用しましょう。

(10) 学校図書コーナーの利用について

① 開室時間

ア 授業中(図書の先生の許可が必要です。)

イ 長期休業は、借りる冊数が決まっています。

ウ 図書コーナーには、うわばきを脱いで入ります。うわばきは決められた場所にきちんとそろえて置きましょう。

② 貸出時間

ア 業間休みのみです。

イ 図書の先生がいる時のみ借りることができます。誰もいない時は、貸し出しできません。
※個人で本を借りる場合は、本を入れる手さげ袋が必要です。

③ 貸出冊数

ア 一人2冊までです。

夏休み、冬休みも原則 一人2冊 〈春休みの貸し出しはありません〉

イ 期限の過ぎている図書があるときは、その本を返却しないと借りることはできません。

ウ 期限が過ぎ督促状が届いた人は、いつ返却するか図書の先生に伝えに行きましょう。

エ 「禁帯出」(赤いラベル)が貼ってある図書は借りられません。

④ 貸出期限

ア 1週間(火曜日に借りたら次の火曜日までに返すこと)

イ 返却日が休みのときは次の日が返却日になります。

ウ 長期休業のときはその休み明けの最初の日に返しましょう。

エ 延長したいときは必ず本を持ってきて、延長手続きをしてください。

(予約が入っているときはできません。)

⑤ 授業への貸出(授業で使う場合の貸出)

ア 事前に借りたい本が分かる場合は、事前に図書の先生に相談してください。

イ 急に本が必要な場合貸出カードに学年・日付を記入して借りてください。

ウ 授業終了後、速やかに返却(1日のみ)長期間借りたい場合は、図書の先生に相談してください。

エ 授業で借りる本は個人で借りる本の冊数には含めません。

⑥ その他

ア 図書コーナーでは、本を読んでいる人の迷惑にならないよう静かにしてください。

イ 本やテーブル、椅子など次の人のことも考え、大事に扱ってください。

- ウ 借りた本を自分で勝手に他の人に「また貸し」することは絶対にしないでください。
- エ 図書の紛失・破損は借りた人の責任となりますので大事に使いましょう。図書の先生に教えてください。また、万が一、本がやぶけてしまった時も、図書の先生に教えてください。本専用の修理テープで補修します。(自分でセロテープをはったりしないでください。)
- オ 学級文庫の本は教室で読むための本で、個人への貸し出しをするものではありません。
- カ 雨の日の図書コーナー利用(休み時間)は、本を返す人と借りる人のみです。
- キ 学級文庫等、借りた本は、日の当たらないところ、濡れないところに置きましょう。

(11) 体育館使用上の注意

- ① 体育館に入るときは必ず上履きで入り、入り口のマットで上履きの汚れを取りましょう。
- ② ステージ、体育倉庫、その他の倉庫等に無断で入るのは危険なのでやめましょう。
- ③ 先生の許可なくボールなどは持ち出ししてはいけません。また、使用後はきちんと片付けましょう。
- ④ 体育館使用後はみんなで協力して体育館内を片付け、ごみなどを残さないようにしましょう。
- ⑤ クライミングロープ、その他の器具は危険なので無断で使用しないようにしましょう。
- ⑥ ボールなどをわざと壁にぶつけないようにしましょう。
- ⑦ ガラスを割ってしまったり、器具を破損してしまった場合はすぐに先生に連絡しましょう。
- ⑧ いすを使用する場合は、床に傷を付けないように注意しましょう。
- ⑨ 体育館を常にきれいに使用しましょう。

(12) 遊具のきまり

- ① 順番を守りましょう。
- ② ブランコに乗っている人がいるときは白い枠の中に入りません。立ちごぎをしません。二人乗りもしません。
- ③ ターザンロープは一人ずつ使いましょう。ターザンロープで遊んでいる人がいるときは、ターザンロープの周りに近づきません。
- ④ すべり台はすべるところを下から登りません。人がいるときは、すべり始めたり、押したりしません。
- ⑤ うんていの上にはのりません。
- ⑥ 一輪車・竹馬は中庭で行いましょう。後片付けもきちんと行いましょう。
- ⑦ 中庭ではボール遊びや鬼ごっこはしません。中庭では、竹馬、一輪車、縄跳びのみの使用とします。
- ⑧ ボール遊びはグラウンドで行いましょう。後片付けもきちんと行いましょう。
- ⑨ タイヤで遊ぶときは順番を守りましょう。跳んでいる人がいる所を横切りません。
- ⑩ 畑には入りません。
- ⑪ 遊具が壊れてしまったときは、先生に報告しましょう。

(13) 校舎や校具の扱いについて

- ① 校舎や机・椅子・その他の公共物は大切に扱い、落書きや破損をしないように注意しましょう。
- ② 校具や備品は、先生の許可を受けてから使用し、使用後は必ず元の位置に戻しましょう。
- ③ 校舎・校具・ガラスなどを破損した場合は、担任の先生に報告しましょう。
- ④ スイッチ・安全器など電気設備には無断で手をふれないようにしましょう。
- ⑤ 鍵のかかっている教室は先生に開けてもらいましょう。

(14) 安全な登下校について

- ① 交通のルールを守り安全に登下校しましょう。
- ② 登下校の時は、安全帽子をかぶりましょう。
- ③ 見守りをしてくれている地域の方などに元気よくあいさつをしましょう。
- ④ スクールバス以外の人は、家の人と安全に登下校のできる通学路を確認しておきましょう。
- ⑤ 通学路付近の「110の家」の場所を確認しておきましょう。
- ⑥ 道幅が狭くなっている場所では、白線からはみ出さないように気を付けましょう。
- ⑦ 道が合流する場所では、必ず一時停止をし、左右を確認しましょう。
- ⑧ 道路を横断するときには、必ず横断歩道を渡りましょう。

(15) 校外での児童心得について

- ① 校外生活においても、高田小の児童としての自覚と責任をもって行動しましょう。他人に迷惑のかかる行為は一切しないようにしましょう。
- ② 登下校中に買い物はしないようにしましょう。
- ③ 子どもだけでカラオケボックス、ゲームセンター、ボーリングなどの遊技場には出入りしないようにしましょう。
- ④ 子どもだけの外泊は禁止します。
- ⑤ 帰宅後に遊んでよい行動範囲です。おうちの方にも伝えましょう。
 - ・低学年・・・家のまわり
 - ・中学年・・・地区内
 - ・高学年・・・学区内
- ⑥ 帰宅後、遊んでいても、防災無線の音楽が鳴るまでには家に帰りましょう。

ア	夏の帰宅時間	午後5時	(始業日～9月30日)
イ	冬の帰宅時間	午後4時30分	(10月1日～春休み最終日)
- ⑦ 学校が休みの日は校庭では遊べません。また、特別な用事がない時には校舎内には入れません。

(16) 上履き・赤白帽子の貸し出しについて

- ① 上履きを忘れてしまった場合は、担任の先生に報告し、貸し出し用の上履きを借りましょう。
- ② 貸し出しカードは、連絡帳に貼り、家の人に見せましょう。
- ③ 借りた児童は、持ち帰って洗濯し、返しましょう。

(17) 自転車に乗る時に注意すること。

- ① ヘルメットは必ずかぶり、あごひもをきちんとしめましょう。
- ② 二人乗り、並列運転は禁止です。危険なので絶対やらないようにしましょう。
(並列と見なされるはみ出し行為も禁止です。)
- ③ 荷物を手に持ったり、ハンドルにかけての走行は、危険なのでやらないようにしましょう。
- ④ 駐輪の際には、ヘルメットをカゴに入れ、指定の位置に並べて駐輪しましょう。
- ⑤ 歩道は歩行者が優先です。歩行者が来た場合は道をゆずり、1列で走行しましょう。
- ⑥ 暗くなったら必ずライトをつけて走行しましょう。
- ⑦ 雨天の際は雨ガッパを着用し、傘さし運転は絶対にしないようにしましょう。

Ⅲ タブレットを利用した学習について

《 児童用タブレット使用のきまり》

- ① 学習活動専用です。その他のことに使ってはいけません。
- ② 稲敷市から貸してもらっているものなので、大切に扱います。
- ③ アイコンやデスクトップを変えてはいけません。
- ④ ネット上の掲示板やチャットなどに書きこんではいけません。
- ⑤ パスワードは自分1人でおぼえ、友達に教えてはいけません。
- ⑥ きまりを守れないときは、お家の方に連絡し、タブレットを使えなくすることがあります。